

(別記様式第1号)

計画作成年度	平成20年度
計画主体	設楽町

設楽町鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担当部署名 設楽町産業課
所在地 愛知県北設楽郡設楽町田口字居立2
電話番号 0536-62-0511
FAX番号 0536-62-1675
メールアドレス sangyo@town.shitara.aichi.jp

1. 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	ニホンザル ニホンヅカ イノシ 加シカ ハクシシ カラス(ハシブトガラス・ハシホソガラス) ハクキバト・トバト) アサギ カワ ノサギ ヒヨドリ
計画期間	平成20年度～平成22年度
対象地域	設楽町全域

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状(平成18年度)

鳥獣の種類	被害の現状		
	品目	被害金額(千円)	被害面積(a)
ニホンザル	稲	450	50
	イモ類	10	20
	豆類	10	23
	果樹類	20	8
	野菜類	200	75
ニホンヅカ	稲	10	30
	イモ類	10	20
	豆類	5	5
	果樹類	5	2
	野菜類	50	20
イノシ	稲	1,550	951
	イモ類	57	70
	豆類	20	30
	果樹類	10	9
	野菜類	150	240
加シカ	森林(用材林)	1,320	528
ハクシシ	イモ類	4	5
	野菜類	80	120
カラス(ハシブトガラス・ハシホソガラス)	豆類	32	5
	野菜類	150	20
ハクキバト・トバト)	豆類	50	50
アサギ	養殖魚類	200	
カワ	河川魚類	300	
ノサギ	森林(用材林)	1,000	100
ヒヨドリ	豆類	50	50

(2) 被害の傾向

	生息状況	被害の発生時期	被害の発生場所	被害地域の増減傾向
ニホンザル	急峻な岩場の山林に生息	主に 4・5・9・10・11月	町内全域の野菜畑、柿栗の果樹	増加傾向
ニホンツカ	広葉樹林を中心に生息	主に 4・5月	町内全域の田植え後の水田、牧草地	増加傾向
イノシシ	町内全域の山林に生息	主に 8・9・10月	町内全域の野菜畑、水田	横ばいまたは増加傾向
クマ	町内全域	通年	町内全域の山林	横ばい傾向
ハクビシ	町内全域	主に 6・7・8・9・10月	町内全域の野菜畑	横ばい傾向
カス(ハシブトガラス・ハシボソガラス)	町内全域	通年	町内全域の野菜畑	横ばい傾向
ハクキ(ハト・ドバト)	町内全域	通年	町内全域の野菜畑	横ばい傾向
アサギ	町内全域	通年	町内全域の養殖池	増加傾向
カウ	町内全域	通年	町内全域の河川	増加傾向
ノウサギ	町内全域	通年	町内全域の山林	横ばい傾向
ヒヨドリ	町内全域	通年	町内全域の野菜畑	横ばい傾向

(3) 被害の軽減目標

指標	現状値 (平成18年度)	目標値 (平成22年度)
ニホンザル	176 a	60 a
ニホンツカ	77 a	30 a
イノシシ	1300 a	600 a
クマ	528 a	300 a
ハクビシ	125 a	60 a
カス(ハシブトガラス・ハシボソガラス)	25 a	10 a
ハクキ(ハト・ドバト)	50 a	30 a
アサギ	200千円	100千円
カウ	300千円	200千円
ノウサギ	100 a	60 a
ヒヨドリ	50 a	30 a

(4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲等に関する取組	<p>【捕獲体制の整備】 コホザル・コホジカ・イソシの個体数調整を設楽町猟友会に委託して実施</p> <p>【捕獲機材の導入】 愛知東農協が平成19年度愛知県山間地営農等振興事業によりコホザル・コホジカ・イソシなどの大動物用捕獲用捕獲檻を20基、ルビシなどの小動物用捕獲檻を20基導入し、猟友会を通じて町内へ設置 その他に狩猟者個人が捕獲檻を設置</p> <p>【捕獲鳥獣の処理方法】 現地理設処理</p>	<p>6～7人で追い込みながら捕獲を行うため狩猟者数の確保が必要で、現在猟友会内の狩猟者数が不足している状況である。</p> <p>また、コホザルの場合出没した時点ですぐに捕獲する人数が集められないので結局捕獲ができない。</p>
防護柵の設置等に関する取組	<p>【侵入防止柵の設置・管理】 小代集落が平成18年度愛知県山間地営農等振興事業により広域的イソシ用の金網柵1300m、電気柵900mを設置 その他に町単独の補助事業により農業者個人が電柵などを設置</p> <p>【緩衝帯の設置】 平成19年度延べ3カ所の耕作放棄地へ農業者が牛を放牧</p> <p>【忌避剤の塗布】 新規植栽地及び10年生程度の幼林に対し、忌避剤を塗布</p>	<p>柵周辺の草刈りなどの管理が必要となる。コホザルの場合柵を設置しても近くに立木があると進入を許してしまう。</p> <p>降雨による忌避剤の流失 塗布ムラによる食害 塗布の従事者確保 人力による資材の運搬</p> <p>加わりの場合、河川へ放流したア1・ア2を捕るので捕獲以外には防ぐ方法がない。</p>

(5) 今後の取組方針

<p>【全 般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県特定鳥獣保護管理計画に基づく設楽町実施計画に基づき計画的に捕獲を進める。 ・わな免許等狩猟免許の取得を促進するなど、新たな被害対策の担い手を育成する。 ・集落の活動として、エサ場になるような家庭から出る生ゴミの放置や未収穫の農作物、放任果樹を集落からなくし、隠れ場所になりそうな耕作放棄地や竹藪などを除去し見通しとよくする必要がある。 <p>【ニホンザル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害集落住民で組織化し、被害量の把握、エサ場などの点検、モデルガンによる「猿追い払い隊」をつくり防除を進める。また、「猿追い払い隊」の知識技術の向上を図るため研修を実施する。また、「モンキードック」による猿追い上げを実施する。 ・広域的に生息調査を関係機関と連携して実施する。 <p>【ニホンジカ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的に進入防止柵を設置する。 <p>【カモシカ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忌避剤の塗布 ・個体数の調整 <p>【イノシシ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的に進入防止柵を設置する。 ・緩衝帯を作るため、和牛放牧を実施する <p>【ハクシシ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進入防止網・電気柵などを設置する。 <p>【カス(ハジトガラス・ハシロガラス)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進入防止網などを設置する。 <p>【ハト(キバト・ドバト)・アサギ・カウ・ヒドリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進入防止網を設置する。 <p>【ノウサギ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼木へ忌避剤を塗る。

3 . 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

(1) 対象鳥獣の捕獲体制

<p>ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、カモシカについては、愛知県特定鳥獣保護管理計画に基づく設楽町実施計画に基づき計画的に捕獲を進める。</p> <p>有害鳥獣の捕獲については、設楽町が設楽町猟友会へ委託して実施する。</p>
--

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
20年度 ～ 22年度	ニホンザル ニホンジカ イノシシ	<p>新城・北設広域獣害鳥獣対策協議会と連携して、有害鳥獣の捕獲、防除対策を進めていく。</p> <p>加害個体、人馴れ度の高い個体を中心に捕獲を実施する。</p> <p>わな免許等狩猟免許の取得を促進するなど、新たな被害対策の担い手を育成する。</p> <p>安全で効果的な箱わなの導入を進める。21, 22年度にニホンジカを対象として、箱わな、くくりわなを各10基を導入する。</p>
	カモシカ	<p>保護管理の具体的施策を検討するため、妊娠率、年齢構成、性比などの情報収集し、調査を行う。</p>

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方	
ニホンザル・ニホンジカ・イノシシ・カモシカについては、愛知県特定鳥獣保護管理計画に基づく設楽町実施計画に基づき設定する。	
【ニホンザル】	捕獲実施者等の協力を得て前年度の捕獲数、捕獲場所、捕獲時期、捕獲個体の性別等を把握する。これにより、最適な捕獲数を検討し必要に応じて捕獲目標数の見直しを行う。
【ニホンジカ】	捕獲実施者等の協力を得て前年度の捕獲数、捕獲場所、捕獲時期、捕獲個体の性別等を把握する。なお、ニホンジカについては、県全体について個体群シミュレーションモデル(SimBanbi)により個体数を推定する推計結果を参考に、捕獲効率(CPUE値)、農業被害量等の状況を把握しながら生息数の増減を推定する。これにより、最適な捕獲数を検討し、必要に応じて捕獲目標数の見直しを行う。
【イノシシ】	捕獲実施者等の協力を得て前年度の捕獲数、捕獲場所、捕獲時期、捕獲個体の性別等を把握する。なお、イノシシについては個体数の現実的な推定方法が確立されておらず、生息密度を推定することは難しいため、捕獲効率(CPUE値)、農業被害量等を指標として生息密度の増減を推定する。これにより、最適な捕獲数を検討し、必要に応じて捕獲目標数の見直しを行う。
【カモシカ】	生息実態及び被害状況を調査し、当該年度の捕獲数を検討する。
【ハクビシ】【ウサギ】【カス(ハジブトガラス・ハボソガラス)】【ト(キバト・トバト)】【アサギ】【カウ】【ヒドリ】	従来の捕獲数を考慮して最適な捕獲数を検討設定し、必要に応じて捕獲目標数の見直しを行う。

対象鳥獣	捕獲計画数等		
	20年度	21年度	22年度
ニホンザル	4	4	4
ニホンジカ	11	11	11
イノシシ	301	301	301
カモシカ	生息実態及び被害状況を調査し、当該年度の捕獲数を検討する。		
ハクビシ	20	20	20
カス(ハジブトガラス・ハボソガラス)	100	100	100
ト(キバト・トバト)	100	100	100
アサギ	60	60	60
カウ	200	200	200
ウサギ	20	20	20
ヒドリ	100	100	100

捕獲計画数は、狩猟による捕獲数と個体数調整による捕獲数の合計。

参考資料として、平成20年度設楽町特定鳥獣保護管理計画実施計画を添付。

捕獲等の取組内容	捕獲手段	捕獲の実施予定時期	捕獲予定場所
【ニホンザル】 【ニホンツカ】 【イノシ】 【ハクシ】 【カス(ハシトガラス ・ハシホリガラス)】 【ウサギ】 【カス・ハト(キジハト ・ドハト)・アサギ・カ ワ・ヒヨドリ】	・銃及びわな ・銃及びわな ・銃及びわな ・わな ・銃 ・銃 ・銃	設楽町鳥獣保護許可 事務取扱要領により 4月から始まる6ヶ 月単位	愛知県特定鳥獣保護管理計画に 基づく設楽町実施計画により ・町内(田口・段嶺地域) ・町内(名倉・津具地域) ・町内(全地域) ・町内(全地域) ・町内(全地域) ・町内(全地域)
【カモカ】	・銃	12月～3月	・町内カモカ捕獲団地

(4) 許可権限委譲事項

対象地域	対象鳥獣
	該当なし

4. 防護柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項

(1) 侵入防止柵の整備計画

対象鳥獣	整備内容		
	20年度	21年度	22年度
イノシ	電気柵 1000m ネット柵 1000m	電気柵 1000m ネット柵 1000m トタン柵 500m	電気柵 1000m ネット柵 1000m トタン柵 500m
ニホンツカ	電気柵 3500m	電気柵 1000m ネット柵 1000m	電気柵 1000m ネット柵 1000m
ニホンザル	電気柵 500m 金網柵 500m	電気柵 500m 金網柵 500m	電気柵 500m 金網柵 500m

(2) その他被害防止に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
20～ 22	ニホンザル	・電波発信機を用い、生息状況を調査する。 ・町内の集落単位で組織した「猿追い払い隊」へモデルガンを貸与し、取扱などの研修を実施し、追い上げ追い払いを行う。また放任果樹、かくれがになる雑木林を撤去する。 ・「モンキードック」による猿追い上げを実施する。
20～ 22	イノシ ニホンツカ	・電牧柵セットを用い、耕作放棄地へ和牛放牧を実施する。

5. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 被害防止対策協議会に関する事項

被害防止対策協議会の名称	新城北設広域鳥獣害対策協議会	
構成機関の名称	役割	
愛知県新城設楽農林水産事務所	有害鳥獣関連情報の提供を行う。	
新城市	有害鳥獣の捕獲、防除対策の支援をする。	
設楽町	有害鳥獣の捕獲、防除対策の支援をする。	
東栄町	有害鳥獣の捕獲、防除対策の支援をする。	
豊根村	有害鳥獣の捕獲、防除対策の支援をする。	
愛知東農業協同組合	事務局を担当し、協議会に関する連絡調整を行う。	
同組合生産部会代表	被害防除などの情報提供を行う。	
各市町村猟友会	有害鳥獣関連情報の提供と有害鳥獣害の捕獲を行う。	

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役割
愛知県山村振興事務所	有害鳥獣の捕獲及び鳥獣の保護に関する情報提供、指導を行う。
寒狭川上流漁業協同組合	鳥獣被害の情報収集及び防除対策の実施

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

該当なし

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

該当なし

6. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

有害捕獲した鳥獣については、原則埋設処理とするが、今後は大型獣の処分方法について検討し、イノシシやシカを地域資源として有効活用することも検討する。

7. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

被害防止対策に関して、新城・北設広域獣害対策協議会と連携し、共同で講演会、情報交換会、現地研修会などを開催する。
--